

平成30年9月3日

長崎リハビリテーション学院
学院長 本川 哲 殿

学校関係者評価委員会
委員長 小野 俊文

学校関係者評価委員会報告

平成30年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 山下 均 (鈴木病院 リハビリテーション科科长 理学療法士)
- ② 岩永真仁 (南野病院 リハビリテーション科副科長 作業療法士)
- ③ 福田優希 (長崎みなとメディカルセンター市民病院 言語聴覚士)
- ④ 平野英三 (愛野記念病院 事務長代理 理学療法学科2期卒業生 元同窓会会長)
- ⑤ 赤川義則 (大村市赤佐古町 町内会長)
- ⑥ 岡田一幸 (長崎県立大村高等学校 教頭)
- ⑦ 小野俊文 (県公立高等学校PTA連合会 事務局長)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

- | | | | |
|--------|-------|-------|--------------------|
| 第1回委員会 | 平成30年 | 5月28日 | (会場 長崎リハビリテーション学院) |
| 第2回委員会 | 平成30年 | 7月23日 | (会場 長崎リハビリテーション学院) |
| 第3回委員会 | 平成30年 | 8月6日 | (会場 長崎リハビリテーション学院) |
| 第4回委員会 | 平成30年 | 8月30日 | (会場 長崎リハビリテーション学院) |

3 学校関係者委員会報告

別紙1、2 のとおり

以上

I 重点目標について

1 重点目標 1. について [重点目標 1. 教育力の底上げについて]

- ・学生の自己学習能力を高めるために（特に基礎学力）、学園閲覧システムやスマホ対応国試対策システム教材の活用向上にむけた取組や成績の二極化対策を図ることで、結果的に国家試験合格率向上や中途退学者の半減につながっている。

2 重点目標 2. について [重点目標 2. 学院運営について]

- ・少子化の時代、学生確保はどこにおいても課題であるが、継続的な広報活動を通して学院の認知度をさらに上げることが望まれる。また国家試験合格率向上が認知度を上げ入学者増につながっていくものと思われる。
- ・近隣の病院・施設の求人数を増やすために、就職説明会の開催や同窓生への案内などは有効と思われる。施設から求められる専門職の輩出に努めてもらいたい。

II 各評価項目について

1 教育理念・目的・人材育成像

- ・資格取得、国家試験合格を念頭において教育に取り組んでいる。卒業時、国家試験合格に該当する成績か否かを判別する教員の能力や卒業試験の精度を上げることはとても重要なことである。国家試験委員会を中心に今後の積極的な取組に期待したい。

2 学校運営

- ・学院の目標のもと、各部署で検討されたものが運営会議や本部定例会に提出され、確認・決定に至るなど組織的に運営されている。
- ・理学療法学科二部の3年制移行が29年度入学者から実施された。29年度入学者は前年度より増え、今年のオープンキャンパス参加者の中にも社会人が例年より多いとのことであるが、教育効果も含め実績を出して欲しい。
- ・人事評価導入は予定、給与への反映も含めて詳細は未定とのことである。

3 教育活動

- ・条件付卒業試験制度とは卒業試験不合格者に対し、もう一度チャンスを与える制度とのことであるが、チャンスをものにすることができるよう本人の動機付けが重要である。
- ・講義評価アンケートをどのようにフィードバックし改善に向けて取組まれているか興味がある。
- ・授業評価の集計に負担がかかっているようであるが、各種ソフトの活用により入力の手間の削減になるのではないかと、検討して欲しい。
- ・キャリア教育は学科でその方法には差があるが、理学療法学科では未来ノートを用いた取組がなされている。

4 学修成果

- ・国家試験合格率が前年度より向上している。特に言語療法学科は良くなっている。
- ・就職の求人は都市圏から増えている。1人に対して40倍、長崎・佐賀で3～4倍である。言語聴覚士、作業療法士を求める施設が多いとのこと。
- ・卒業生の社会的評価のひとつとして、研修会参加状況なども把握してほしい。資格取得後の本人の仕事への積極的姿勢を期待したい。

5 学生支援

- ・図書館は24時までの開館や学園の閲覧システムの整備など、学生の支援体制は整っている。
- ・就職支援では学生の希望と現実の差があろうが、適切な支援により100%の就職につなげて欲しい。
- ・就職先との連携をさらに深め、そこからの意見を教育内容に反映させて欲しい。
- ・中途退学者は前年度と比し半減していることは良いことである。
- ・特待生制度は今年度入学試験から適用するとのこと、学生支援として好ましい。
- ・課外活動に対してはスポーツ大会県大会及び九州大会まで支援している。

6 教育環境

- ・防災のマニュアルは消防についてはあるが、消防以外の土砂・水害など総合的なマニュアルが未整備とのこと。共通理解するためのマニュアル作成が求められている。特に斜面地についてもう一度確認し、防災対策を講じて欲しい。
- ・安全管理体制のうち、感染症対策はできている。施設の警備や授業中の事故想定した対応などの整備が今後の課題である。

7 学生の募集と受入れ

- ・高校訪問やオープンキャンパス、ホームページ等様々な手段を通じて本人や高校教員に情報を提供し、学生の募集活動を行っている。大変であるが継続して取組んで欲しい。
- ・各種入試が実施され選考基準のもと適切に運用されている。

8 財 務

- ・財務分析は学院及び学園全体で行っている。公認会計士に外部監査及び指導助言をお願いしている。
- ・執行管理は予算及び計画に基づき適性に行っている。
- ・財務関係資料の公表については私立学校法により定められており、開示請求には対応している。
- ・学生の立場からすると財務状況などの情報は必要と考える。

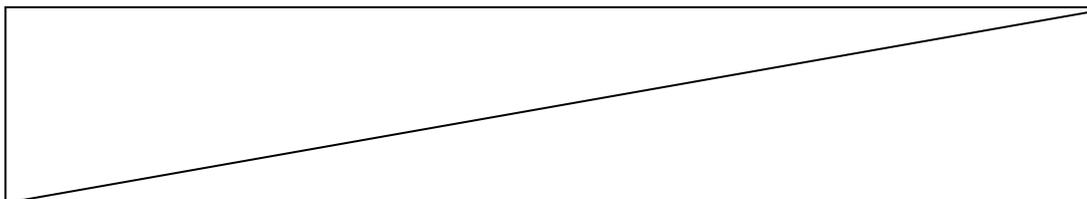
9 法令等の遵守

- ・学校設置基準、指定規則に基づき、適切に運営されている。
- ・ハラスメント対応のマニュアルを今後整備していく。
- ・個人情報保護について学園就業規則および内規、学院のウイルス対策マニュアルを整備・通達し、おおむね良好な状態である。
- ・学校評価では自己評価、学校関係者評価、その情報公開と取組めている。

10 社会貢献・地域貢献

- ・ボランティア活動は良く取組んでいる。
- ・地域貢献の活動は行われているが、学院全体として対応できる体制づくりが今後必要である。

11 国際交流 ※学校から必要がある項目として提示された場合



※評語の意味			
4	適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。		
3	ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組が期待される。		
2	対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取り組む必要がある。		
1	全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。		

1) 項目1：理念・目的・育成人材像

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	理念・目的・育成人材像は、定められているか	4	4
2	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4	4
3	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4	4
4	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4	4

2) 項目2：学校運営

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	理念等に沿った運営方針を定めているか	4	4
2	理念等を達成するための事業計画を定めているか	4	4
3	設置法人は組織運営を適切に行っているか	4	4
4	学校運営のための組織を整備しているか	4	4
5	人事・給与に関する制度を整備しているか	3	3
6	意思決定システムを整備しているか	4	4
7	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	4	4

3) 項目3：教育活動

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4	4
2	学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4	4
3	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4	4
4	教育課程について外部の意見を反映しているか	4	4
5	キャリア教育を実施しているか	4	4
6	授業評価を実施しているか	4	4

7	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4	4
8	各種科目試験は適切に行えているか	4	4
9	講義や実習の運営は適切に行えているか	4	4
10	学籍管理は適切に行えているか	4	4
11	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4	4
12	資格・免許取得の指導体制はあるか	4	4
13	資格・要件を備えた教員を確保しているか	4	4
14	教員の資質向上への取組みを行っているか	4	4
15	教員の組織体制を整備しているか	4	4

4) 項目4：学修成果

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	就職率の向上が図られているか	4	4
2	資格・免許取得率の向上が図られているか	4	4
3	卒業生の社会的評価を把握しているか	3	3

5) 項目5：学生支援

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4	4
2	退学率の低減が図られているか	4	4
3	学生相談に関する体制を整備しているか	4	4
4	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4	4
5	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4	4
6	課外活動に対する支援体制を整備しているか	4	4
7	保護者との連携体制を構築しているか	4	4
8	卒業生への支援体制を整備しているか	4	4
9	産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	4	4
10	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	4	4

6) 項目6：教育環境

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4	4
2	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4	4

3	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3	3
4	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	2	3

7) 項目7：学生の募集と受け入れ

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	3	3
2	学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	4	4
3	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4	4
4	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4	4
5	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4	4
6	入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	4	4

8) 項目8：財務

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4	4
2	学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4	4
3	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4	4
4	予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	3	3
5	私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4	4
6	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	2	2

9) 項目9：法令等の遵守

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	3	3
2	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4	4
3	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4	4
4	自己評価結果を公表しているか	4	4
5	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4	4
6	学校関係者評価結果を公表しているか	4	4
7	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4	4

10) 項目10：社会貢献・地域貢献

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	3
2	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4	4